

とよなか市民環境会議 創設から 20 年 協働の足跡

～ 市民による自然調査 パネル展 ～



西泉丘の土地区画整理事業前の風景

(いずれも「歩いて、見て、感じた豊中」のパネルから抜粋)



猪名川自然林での自然観察会

1995年に制定された「豊中市環境基本計画」の基本理念に基づき、1996年に「地域から地球環境を守る行動」を推進することを目的に、「とよなか市民環境会議」が発足しました。代表は豊中市長で、パートナーシップのもと市民団体・事業者・行政が会員（今は142団体）となり、「環境先進都市豊中」実現に向かって取り組んでいます。

「とよなか市民環境会議」は、1999年3月に「豊中アジェンダ21」を策定し、それから17年が経過しました。「豊中アジェンダ21」策定にあたり、自然・生活・産業(事業)・交通の4つの作業部会が構成され、自然部会では市内を8ブロックに分けて、カメラでウォッチングし「歩いて、見て、感じた豊中」のパネルを作成。1997年の環境展でも発表し好評を得ました。今回は当時のパネルも展示します。

また、毎年実施している「身近な生き物しらべ」のパネルと、各種調査冊子の展示をいたします。どうぞご来場ください。

- 開催会場 豊中市立環境交流センター
(阪急電車曾根駅から北へ徒歩5分(高架下))
- 開催期間 2016年5月17日(火)～6月5日(日)
9:00～17:00 (休館日の23日、30日を除く)
- 問合せ TEL 06-6844-8611 (環境交流センター)

主催 NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会